

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

当センターは、目標としている産学官金連携による「アジア No.1 航空宇宙産業クラスターの形成」実現に向けて、(1) 販路開拓・新市場開拓、(2) 人材育成、(3) 中核企業の創出、(4) 認証取得支援の4つの柱からなる重点事業を始め各種事業を実施した。

本年度は、以下の受託事業を実施した。(税込)

(1) 地域中核企業創出・支援事業

① アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成のための中核企業創出・支援事業

(中部経済産業局委託事業：3,678万円 ※で表示)

② 富山県における航空機産業支援事業

(中部経済産業局委託事業：162万円)

(2) 航空宇宙産業サプライチェーン再構築支援事業

(愛知県委託事業62万円)

(3) グレーター・ナゴヤ地域の航空宇宙関連分野における国際ビジネス実態調査事業

(GNIC委託事業：129万円)

当センターの定量的指標は以下のとおりであった。(受託事業は除く)

① 会員の拡大	:	8 法人加入	(前年度 13 法人)
② 構造組立初級講座	:	75 名受講、	48 名認定証授与 (前年度 107 名受講、83 名認定証授与)
③ 設計人材養成講座	:	7 名受講	(前年度 58 名)
④ 試験評価人材養成講座	:	9 名受講	(前年度 10 名)
⑤ ミラサポ事業の利用企業	:	14 件	(前年度 26 件)
⑥ ホームページ・メルマガの情報発信	:	78 件	(前年度 71 件)

1. 販路開拓・新市場開拓

(1) エアロマート名古屋2017 (国際商談会) での販路開拓等支援

1) 出展企業の支援 (※)

当センターは、「CHUBU AEROSPACE INDUSTRIES」として「エアロマート名古屋2017」に出展し、ブースにおいて海外企業等への対応を含め、当地域参加企業への問合せ対応・取次を実施した。期間中、中部地域からの出展企業を紹介する資料を配布すると共に、コーディネーターによる36件の面談と14件の商談支援を実施した。

会場では、中部地域のアジアNo.1 クラスターのエリアとしての訴求力を強化するため、中部地域からの出展企業を近接する展示ブースを集め、同エリアを特色付ける装飾・演出を行った。



2) 海外ビジネス創出に向けた個別コンサルティング (※)

エアロマート名古屋2017への出展関連企業4社に対して、B to B支援、会社の特徴を生かしたプレゼンテーションの方法及びフォローアップ等についてコンサルティングを実施した。

また、中部地域航空宇宙関連企業ディレクトリへの追加掲載候補となる企業4社を訪問し、ディレクトリへの記載内容の個別コンサルティングを実施した。うち3社を新たに追加し中部地域航空宇宙関連企業ディレクトリへの掲載企業は63社となった。このディレクトリは、エアロマート名古屋2017等で情報発信を行うとともにC-ASTECのホームページに掲載しデータベース化・検索機能を付加し海外からのアクセス環境を向上させた。

3) エアロマート名古屋2017出展支援実行委員会 (事業予算1,940万円負担金制)

愛知県、名古屋市、あいち産業振興機構、名古屋産業振興公社、名古屋コンベンションビューロー、C-ASTECの6団体による実行委員会組織として実施。(C-ASTECは事務局)

国内外の大手航空宇宙関連企業が参加する商談会、「エアロマート名古屋2017」に参加を希望する中堅・中小企業に対して、コーディネーターを活用するなど商談出展支援を実施した。また、海外企業・団体とのワークショップの開催、国内外大手航空宇宙関連企業との交流会、レセプションの開催等の活動を行った。

- ① コーディネータ：5名 開催(前・中・後)に企業訪問を実施
- ② 通訳3名(開催中の海外企業向け対応)
- ③ 実行委員会ブース1コマ(会期中の愛知県・名古屋市の企業紹介を中心に、海外クラスターなどの機関との情報交換・収集)
- ④ 出展参加企業31社・団体(団体参加企業含めると40社)
 - * 参加企業PRデレクトリー冊子作成
 - * 共通装飾施工
- ⑤ 会期中の交流会、ランチミーティングの開催

- * オープニング セミナー時の、同時通訳提供（9月26日）
- * オープニング レセプション時の会場間送迎バス2台提供
- * 樽酒（鏡開き用）・地産品・地酒等地元産業のPR物を提供

⑥ 商談件数：516件（内、海外企業：173件）

<p>（参考）「エアロマート名古屋2017 開催結果」（主催者発表）</p> <p>○開催期間 平成29年9月26日（火）～28日（木）</p> <p>○開催場所 名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール、名古屋商工会議所</p> <p>○参加企業・団体数：300社・団体（国内200、海外100）</p> <p>○参加国数：25カ国</p> <p>○参加者数：900名</p> <p>○商談件数：3,495件</p>

（2）パリ・エアショーへの参加（※）

6月19日～25日、フランスの Paris Le Bourget Airport で開催されたパリエアショーに参加し、以下を実施した。

- ① 海外ビジネス志向のある企業のプロモーションとして企業ディレクトリー（英語版）を用いて中部地域の企業紹介。併せて9月に開催されるエアロマート名古屋の宣伝を実施。
- ② 仏クラスター（Aerospace Valley、SAFE Cluster、ASTech Paris Region）とのMOU締結に向け意見交換をし、相互の認識合わせを実施。
- ③ フランスの航空宇宙関連教育機関の調査としてIAS、ISAEのヒアリングを実施。IASについてはツールーズへ出向いて面談を行った。
- ④ 先進技術調査として3Dプリンティングの動向につき関連企業のヒアリングを実施。（調査を基に平成30年3月の講演会において発表）
- ⑤ EACPのプロジェクトであるABROAD主催の国際クラスターマネージャー会議に出席。会議には21か国71名が出席。（※1）

（※1）EACP：European Aerospace Cluster Partnership

ABROAD：Activities and Business from Real Opportunities for Aerospace Development

（3）シンガポール・エアショーへの参加（※）

平成30年2月6日～9日、シンガポールエアショーにコーディネーターが参加し、関係者との面談、情報収集、新技術動向調査、展示ブースを訪問し意見交換等を実施した。新技術動向等の調査結果については、平成30年3月開催の講演会においてパリエアショーの情報と併せて発表を行った。

(4) カナダ航空宇宙ミッション団との会合

カナダ航空宇宙工業会 (AIAC : Aerospace Industries Association of Canada) のミッション団 (企業4社含む) と、日本側 (企業4社含む) との会合を平成30年1月23日、岐阜県において実施した。会合内容は、カナダ航空宇宙企業の紹介と中部航空宇宙産業界の紹介の後、カナダ側企業と日本側企業とのビジネス商談を実施。並行してカナダ航空宇宙工業会の紹介及び当センターと企業ディレクトリの紹介等を行い、ディスカッションを実施した。

(5) 航空イノベーションセミナーの開催 (※)

セミナーの内容は、今後の成長産業として期待される我が国航空機産業のさらなる定着と産業基盤の拡大を目指すため、市場化において不可欠な技術認証について、他分野の動向を含めた最新状況と今後の体制作りについて焦点をあてた。

○日時 : 平成30年1月31日 (水) 13:30~17:30

○場所 : キャッスルプラザ 4F 鳳凰の間
(名古屋市中村区名駅四丁目3番25号)

○主催 : (一社) 中部航空宇宙産業技術センター (C-ASTEC)

○共催 : 東京大学航空イノベーション総括寄付講座、東京大学航空イノベーション研究会

○参加者 : 127名

1) 第1部 講演

○はじめに 「技術認証に関する背景説明」

国立大学法人東京大学 総括プロジェクト機構

航空イノベーション総括寄付講座 特任教授 洪武 容 氏

○講演1 「型式証明検査について」

国土交通省航空局 安全部航空機安全課 航空機技術審査センター所長 北澤 歩 氏

○講演2 「航空機開発における認証の取り組みと課題 プロセス認証とソフトウェア認証」

三菱航空機株式会社 技術本部 主幹技師 小林 真一 氏

○講演3 「航空機装備品における技術認証取得の取り組みと課題~住友精密の事例~」

住友精密工業株式会社 技師長 高橋 教雄 氏

○講演4 「JAXAにおける標準と部品認定の取り組みについて」

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

研究開発部門 研究戦略部 計画マネージャー 渡辺 安 氏

○講演5 「車載ブレーキシステムにおける機能安全規格 (ISO 26262) 適合への取り組み」

株式会社 アドヴィックス 技術統括部 主査 河野 文昭 氏

○講演6 「サービスロボット分野における安全認証の現状」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 (AIST) ロボットイノベーション研究センターディペンダブルシステム研究チーム長 中坊 嘉宏 氏

2) 第2部 パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、我が国で航空機を開発する意義と若年層の航空機産業への取り込みについて意見交換を行った。

- テーマ： 我が国航空機産業のさらなる産業基盤の拡大に向けた取り組み
- モデレーター： 国立大学法人東京大学 教授 鈴木 真二 氏
- 司 会： 国立大学法人東京大学 特任准教授 洪武 容 氏
- パネリスト： 第1部各講演者

(6) 航空機部品供給システム研究会の定例講演会の開催 (愛知県と共催)

1) 第22回定例講演会

テーマ： Tire1がサプライヤーに求める生産管理と品質保証能力

- ① 日 時： 平成29年8月21日(月) 14:00~16:20
- ② 場 所： 名古屋銀行協会 5階 大ホール(名古屋市中区丸の内)
- ③ 参加者： 174名

講演1 「航空機部品産業における生産管理・品質保証(ガイドブックの活用)」

- (株)三菱重工業 飛昇体品質保証部 飛昇体品質保証課 主席 渡邊 靖 氏
- (株)三菱重工業 飛昇体品質保証部 飛昇体品質保証課 主任 浜永 貴光 氏

講演2 「川下企業の要求に応える体制構築 ~中核企業として~」

- (株)ティ・エフ・マネジメント 代表取締役 門間 清秀 氏

2) 第23回定例講演会

テーマ： 航空機産業の新潮流 ~販路開拓戦略と最新技術動向~

- ① 日 時： 平成30年3月20日(火) 13:30~16:30
- ② 場 所： 名古屋銀行協会 5階 大ホール(名古屋市中区丸の内)
- ③ 参加者： 150名

講演1 「航空機産業の潮流を捉えた販路開拓戦略について」

- 一般社団法人航空宇宙産業支援機構 代表理事 横井 圭一 氏
- (株)海外物産 航空システム事業部 システム営業部 部長 宮 修一 氏

講演2 「航空機産業の最新技術動向」

- (一社)中部航空宇宙産業技術センター コーディネーター 杉山 哲重 氏
- 同 コーディネーター 川合 勝義 氏

講演3 「愛知県の航空宇宙産業振興への取り組み」

- 愛知県産業労働部 産業振興課 次世代産業室

2. 人材育成

(1) 航空機製造技能者育成講座(構造組立初級) (160万円)

航空機製造・組立現場における人材不足に対応して、航空機製造人材の確保・育成を図る目的で、中堅・中小企業の航空機製造現場技能職(初任者、経験者)を対象に実技研修を平成27年度の試行を経て28年度から本格実施し本年度は2年目の講座を実施した。

1) ポリテクセンター中部（愛知県小牧市）で実施

① 内 容

経済産業省中部経済産業局平成27年度新分野進出支援事業（アジアNO.1航空機産業クラスター形成支援事業）で作成したカリキュラム・テキスト及び愛知県作成の映像教材を用いて、20日間の航空機構造組立初級研修を年間6回実施。

合格者には、3重工等で構成する「航空機製造技能者認定委員会」から「技能認定証」を授与した。講師は三菱重工業・SUBARUから派遣

② 受講者数： 75名 （技能認定証授与者：48名）

2) (株)ブイ・アール・テクノセンター（岐阜県各務原市）で実施。

上記と同じカリキュラムとテキストを使用し、当センターと連携して講座を開講し、合格者には技能認定証を授与した。講座は20日間を4分割して受講が可能であり、最終講座受講者7名、技能認定証授与者7名となった。

(2) 高等専門学校での航空宇宙技術講座（※）

高等専門学校の4年生、5年生、専攻科生を対象にして、航空機製造及び構造部品などの全体概要、製造現場における航空機製造に係る要素技術について、岐阜高専及び鳥羽高専において計5回の講義を実施した。なお講義は、全国の高専をネットワークで結んだシステムを使用して全国14の高等専門学校にライブ配信され、アンケート結果は、7割以上の受講生から今後役に立つとの回答があった。なお、講師は、三菱重工業始め航空関係企業等に協力を頂いた。

(3) 航空機技術 — 設計現場からのレッスン（協力：名古屋大学）（19万円）

航空機の設計現場の体験を踏まえて、実践的な設計能力を有する技術者の養成を目指して実施した。

募集コースのうち3日間集中コースのみ4月24～26日に開講し、受講者数は7名。

構造、材料、装備の各コースは受講申込者が少なく開講を見送った。

講師は(株)中菱エンジニアリングに依頼。教室は名古屋大学の協力を得た。

(4) 航空機開発関連試験評価人材養成講座（29万円）

航空機開発における試験評価業務のうち、飛行試験を中心とした座学・実習により飛行試験評価能力を有する技術者の育成・創出を目的として実施した。講師は(株)中菱エンジニアリング及びダイヤモンドエアサービス(株)に依頼した。受講者数は9名。

① 10月21、11月11、18、25日

関連試験全体概要、飛行試験実施要領、飛行特性（各論、試験方法等）の座学

② 12月2日 (株)タマディックのフライトシミュレータを借用し、ダイヤモンドエアサービスのパイロットによる模擬操縦と飛行特性に関する解説を実施

③ 12月9、16日 実飛行試験データを用いて解析・評価実習

3. 中核企業の創出

(1) 航空機エンジン部品加工トライアル事業 (※)

エンジン部品加工への参入を目指す企業を募集して、重工メーカーから提供される図面に基づいて難削材の加工を行い、その結果をコーディネーターが事前審査し、参加企業の技量レベルを加工期間中に向上させることで、川下メーカーがその技量レベルを評価する際のマッチング成功率を高め、国内部品加工受注に向けたエンジン分野等マッチング事業を実施した。

三菱重工航空エンジンが募集する加工物は、中型航空エンジン用高圧タービンケース (High Pressure Turbine CASE、材料：インコネル) で、難易度“高”と“低”の2パターン設定され、合計6社程度募集した。川崎重工業が募集する加工物は、航空エンジンに付くギアボックスの部品 (Ring Gear Support、材料：アルミ合金) で、7社程度募集した。

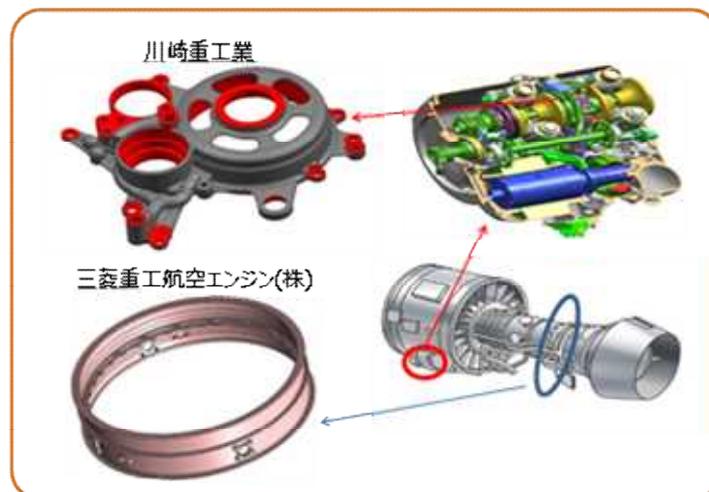
9月6日(水)に加工企業審査委員会を開催し、公募に応じた41社の中から、三菱重工航空エンジンの部品を加工する企業6社と川崎重工業の部品を加工する企業7社を選出した。

その後、加工説明会を開催し、採択した企業に材料を有償支給し、秘密保持契約を結んだ上で図面等を配布して加工方法、提出物件の説明及び評価のポイントの説明を行った。

各企業、1個目の部品加工が終了した時点で三菱重工航空エンジン及び川崎重工業の担当者が各企業を訪問し、加工された部品の一次評価を行うと共に、アドバイスを実施した。加工物と各種報告書類等は1月26日(金)までに提出を求めた。

第3者による外観・寸法等の検査を実施し、加工物評価の最終フィードバックは、それぞれ個社毎に実施し、品証関係の書類の出来栄と加工された製品の出来栄の評価結果が伝えられた。

本事業は、名古屋商工会議所に再委託して実施し、参加した企業からは貴重な経験ができたと好評であった。



加工トライアル対象部品

(2) 航空機産業クラスターフォーラムの開催 (※)

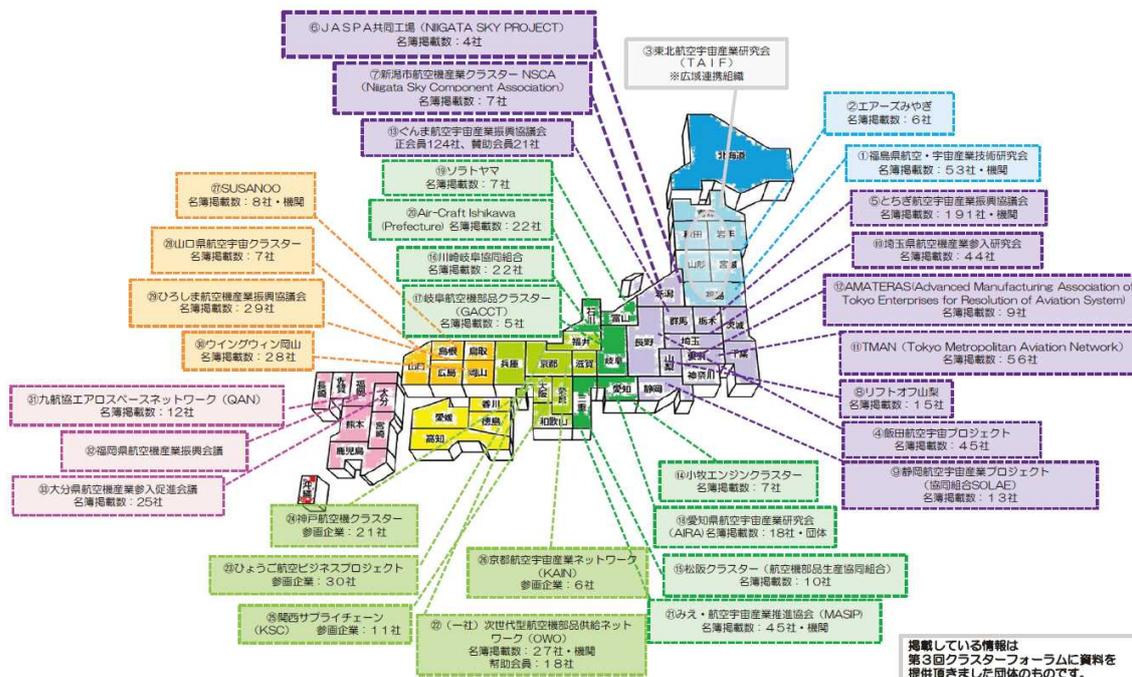
全国のクラスター関係者が一堂に会し、国内航空機産業クラスターの発展に向けた課題及び解決方法を共有し、クラスター間連携を促進することを目的とした航空機産業クラスターフォーラムをエアロマート名古屋の関連事業として開催した。

今回の航空機産業クラスターフォーラムは3回目で、初回は平成27年度に岐阜市で開催し、昨年は国際航空宇宙展(JA2016)に併せて、関東経済産業局(事務局:(一社)日本航空宇宙工業会)と共同開催した。

第3回航空機産業クラスターフォーラムには、国内の29の航空機産業クラスター関係者が参加し、大手重工や工作機械メーカーを始めとした有識者から最新の市場動向・技術展開に関する講演の後、パネルディスカッションを実施して国内航空機産業クラスターの発展に向けた課題及び解決方法について議論した。

航空機産業クラスターフォーラムでの課題の共有化を受けて、平成30年2月には、日本航空宇宙工業会が事務局となって全国航空機クラスター・ネットワークが立ち上げられ、日本航空宇宙工業会のポータルサイト上に全国の航空機産業クラスター情報が掲載されて国内外へ発信されると共に、クラスター間連携を促進するための情報が提供されることとなった。

- ①日 時 : 平成29年9月25日(月) 12:30~18:00
- ②場 所 : 名古屋商工会議所 2F ホール(名古屋市中区栄二丁目10番19号)
- ③主 催 : 経済産業省中部経済産業局、一般社団法人中部航空宇宙産業技術センター
- ④共 催 : 名古屋商工会議所
- ⑤参加者 : 217名
- ⑥参加クラスター : 国内29の航空機産業クラスター



(3) 航空機産業中核企業高度化委員会の開催 (※)

航空機産業中核企業高度化委員会は、当地域の中核企業の育成支援に係る重要テーマについて、短期・中長期の取組を議論する会議を開催した。なお、中核企業高度化委員会開催に先立ち、平成29年12月27日に、中部地域の中核サプライヤー6社から、一貫生産の課題等について意見を聞く「中核サプライヤー会議」を開催した。

- 1) 日 時 : 平成30年3月2日(金) 14:00~16:30
- 2) 場 所 : 安保ホール(名古屋駅前)
- 3) 参加者 : 39名(委員・オブザーバー:29名、事務局:10名)
- 4) 内 容 :
 - ① 一貫生産体制の構築(サプライチェーン強化) : 生産管理手法、材料調達、生産性向上・コストダウン対応
 - ② 内外からの受注拡大 : 海外市場マーケティング、提案力の向上
 - ③ 人材力の強化 : マネージメント・グローバル人材育成
 - ④ 新分野進出 : エンジン分野、装備品分野

(4) 航空宇宙産業サプライヤー再構築支援事業 (愛知県委託事業:62万円)

エアロマート名古屋2017の開催に合わせ、川下企業のニーズである一貫生産体制構築のための企業連携促進や海外への販路開拓・拡大に対する課題等についてヒヤリングするとともにコンサルタントを実施した。

- ① 対象企業:エアロマート名古屋2017参加企業を中心に、JA2016・海外エアショー・などに参加した企業から35社リストアップ。
- ② 35社に対しコーディネーターによるヒヤリングから国内連携・海外販路開拓に意欲的な企業を抽出し、16社の最新データによる海外販路開拓用のディレクトリを作成。
- ③ 16社から、更に海外の販路・拠点を有し、海外へ積極展開する企業に対しコンサルティングを実施した。

上記事業の実施により、連携可能企業の洗い出しと、海外販路拡大に必要な条件・支援策等の課題が抽出された。

(5) 富山県における航空機産業支援事業 (中部経済産業局委託事業:162万円)

北陸地域には、航空機用部品を加工・製造する優れた精密加工機器メーカー等が集積しており、富山県内において航空機産業において大手メーカーから求められる「複数工程をまとめた航空機部品の受注」を目指し、2016年4月に(株)石金精機が中心となり「ソラトヤマ」が設立された。

「ソラトヤマ」の一貫受注・生産の構築に向けた各種支援を行い、大手メーカーから受注を獲得しやすい体制を整え航空機関連事業をグループ各社のコア事業とすることを目指した。

(主な事業内容)

- ① 特殊工程講習会、非破壊検査講習会、Nadcap講習会の開催
- ② 国内外への販路拡大支援に向けた企業訪問5社実施
- ③ エアロマート名古屋に2社出展し商談件数14件(CDによる支援含む)

4. 認証取得支援

(1) 電子装備品に係る国際認証の取得支援 (※)

電子装備品に係る国際認証能力を強化するため、平成27年度から研究会を開催し、ソフトウェア開発の国際認証基準であるDO-178C、DO-254の研究・トレーニングを実施してきた。今年度はソフトウェア開発の国際認証基準であるDO-331のトレーニング・研究会に加え、民間航空機の安全性解析等の規格を定めたARP4754A「Guidelines for Development of Civil Aircraft and Systems」の研修会・研究会を開催した。これらの研修会・研究会には全国の主要装備品メーカー9社から開発担当者等が参加し、国土交通省航空局の航空機技術審査センター（JCAB）の検査官の方もオブザーバー参加した。

また、平成27年度及び平成28年度に作成したDO-178C、DO-254の技術ガイドブック等を活用し、装備品に係る国際認証研修会・研究会メンバー企業5社に対して専門家派遣による個社コンサルティングを9回実施した。

更に、装備品に係る国際認証支援研修会・研究会メンバー企業2社に対してARP4754Aに係わる課題についての専門家派遣による個社コンサルティングを3回実施した。

これらの個社コンサルティングは、合計7社に対して12回実施した。

これら一連の作業は、MHIEアロスペースシステムズ株式会社(MASC)に外注した。

(2) 航空機部品製造にかかわる国際認証(Nadcap)取得支援 (※)

民間航空機部品(特に、機械加工部品)を製造するためには、米国のPRI(Performance Review Institute)が審査機関として管理・運営しているNadcapと呼ばれる国際認証を取得する必要がある。このため、平成28年度には、中部大学に委託して航空機部品製造及び関連の特殊工程(特に、Nadcap対応の非破壊検査、熱処理、化学処理)に関する主要技術・工程・品質保証内容やNadcapに係るテクニカル英語等を取りまとめた技術解説書を作成した。

平成29年度は、この実績を踏まえ中部大学に委託し、企業の若手技術者を集め、「航空機部品高度生産技術者育成研究会」を5回開催し、企業の抱える生産技術の高度化に関する課題の検討を行うとともに、昨年度に編集した英語用語集・解説書からの拡大及び特定テーマの深堀を行った。作成された技術解説書は、今後、社会人の教育の他、大学の授業でも使用を予定。

5. 海外クラスターとの連携

(1) 欧州クラスターとのビジネス交流 (※)

エアロマート名古屋に参加した欧州クラスター・企業とのビジネス交流を実施した。

- ① 9月29日午前、ウイנקあいちに於いて欧州クラスター・企業とのミーティングを実施し、出席者より各組織の活動等のプレゼンテーションと意見交換を実施した。

出席者は欧州より4者 Aerospace Valley (フランス・クラスター)、Niedersachsen Aviation (ドイツ・クラスター)、ESAC クラスター (トルコ・クラスター) 及びトルコの企業。

日本側は川崎岐阜協同組合、天龍エアロコンポーネント(株)、石川県産業創出支援機構、ジャパン・エアロ・ネットワーク、由良産商(株)、中部経済産業局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、各務原市、GNIC、JETRO、C-ASTEC

- ② 9月29日午後、テクニカルツアーを実施した。

欧州より上記4者がヤマザキマザック(株)美濃加茂工場のワールドテクノロジーセンターと大口工場のエアロスペーステクノロジーセンターを訪問し、工場の自動化、デジタル化への取り組みを視察した。

(2) フランス3大クラスターとのMOU締結

9月28日、当センターとグレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会 (GNIC) は、エアロマート名古屋の会場においてフランス3クラスター (Aerospace Valley、SAFE Cluster、ASTech Paris Region) と、両地域の航空機産業の発展を共通目的として互いに連携していくことを確認する覚書 (MOU ; Memorandum of Understanding) を締結した。

連携内容は、2015年6月にドイツ・ハンブルク アビエーションと締結したMOUと同様の内容 (以下の①~④) となっている。

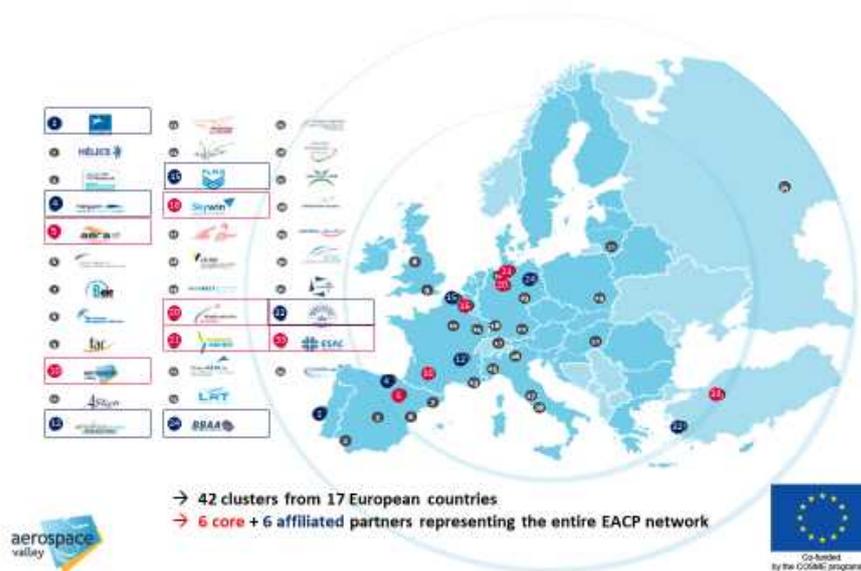
- ① 会合、会議、ワークショップへの共同参加
- ② BtoBイベントの組成
- ③ サプライヤー発展の促進活動に関する情報交換
- ④ 人材教育機能の構築に関するベストプラクティス交換



(3) EACPとの相互協力合意 (Agreement of Mutual Cooperation) 締結

12月27日、当センターとグレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会 (GNIC) は、EACP (欧州の17か国、42の航空宇宙クラスターから成るクラスターネットワーク) と次の内容の相互協力合意を締結した。

- ① 個別ミーティングへの参加
- ② イベント (ミーティング/会議/ワークショップ) への共同参加
- ③ BtoBイベントへの共同企画
- ④ サプライヤー企業における開発を支援するプロセスについての情報交換
- ⑤ 人材能力開発の成功事例の情報交換



6. 会員 (サプライヤー関連企業を中心) に対するアンケート調査

(GNIC委託事業を含む: 129万円)

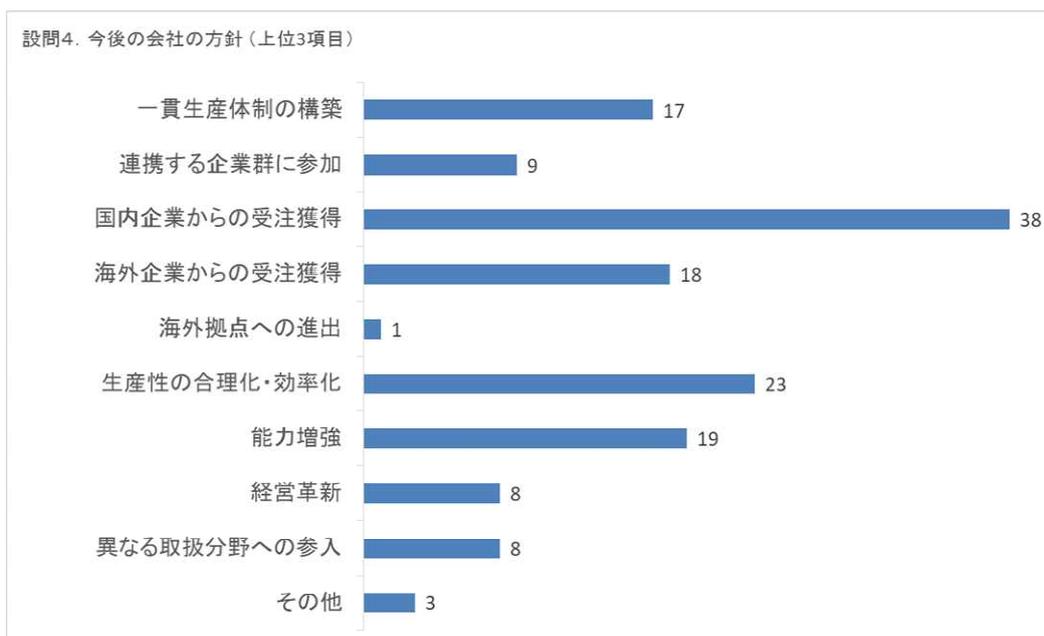
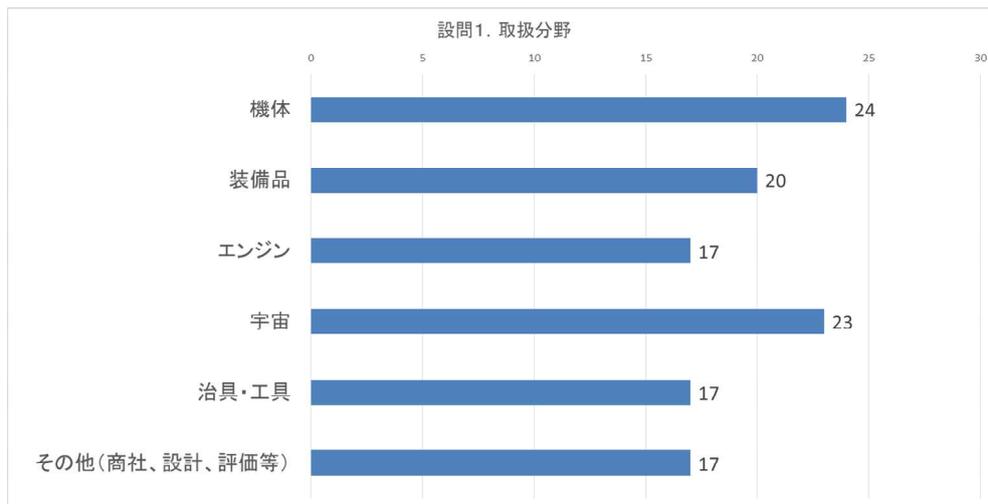
当センターは、エアロマート名古屋 2017 を海外企業とのビジネスマッチングの絶好の機会ととらえ、会員である航空宇宙関連のサプライヤー関連企業を中心にビジネスの実態を把握するとともに、今後の支援の方向性等について検討するアンケート調査を実施した。

なお本事業は、海外クラスターとのMOUを連名で締結しているグレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会 (GNIC) と連携して実施した。

調査報告は、平成30年3月にホームページ及びメールマガジンで配信した。

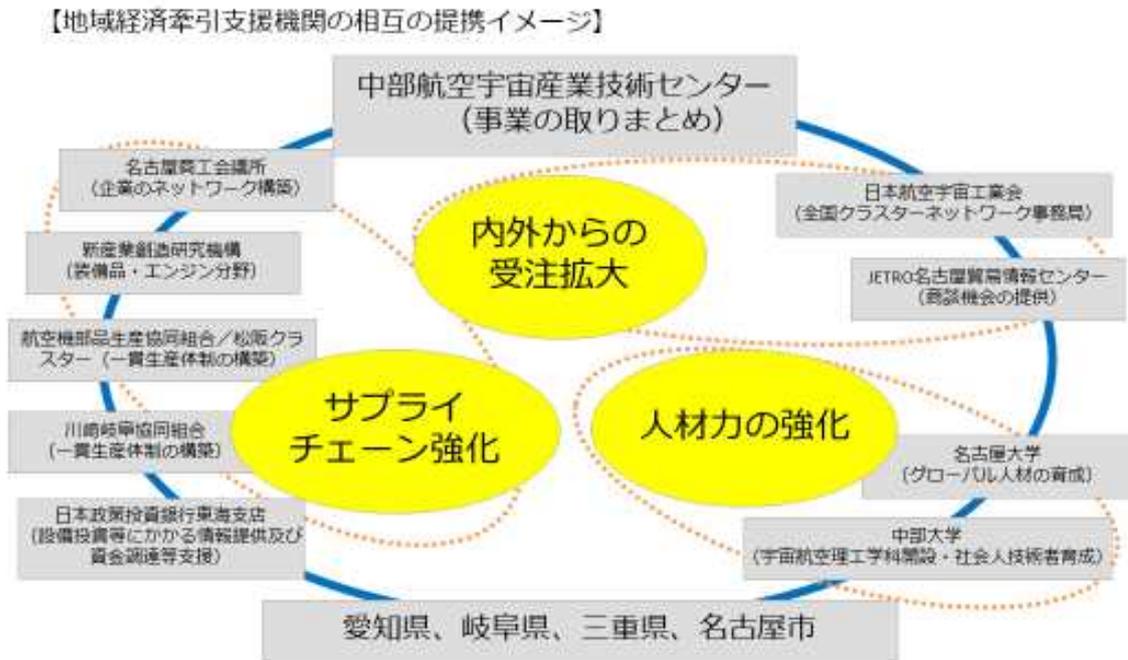
(アンケート配布先: 121件、回収件数: 58件、回収率: 48%)

(参考) : 回答結果の内3設問を抜粋



7. その他

- (1) 当センターは、地域未来投資促進法に基づく地域未来牽引企業として平成29年12月経済産業大臣から選定証が交付された。また平成30年3月支援機関として連携支援計画（下記イメージ図）を申請し、中部の産学官と連携して、内外からの受注拡大、サプライチェーン強化、人材力の強化にシームレスな支援を行うこととしている。



- (2) 中小企業・小規模事業者ビジネス創出等支援事業

当センターは、中小企業庁の専門家派遣事業（ミラサポ）において、「中部航空宇宙産業支援プラットフォーム」の代表機関として、構成機関9行（愛知銀行、大垣共立銀行、十六銀行、中京銀行、名古屋銀行、百五銀行、八十二銀行、三重銀行、第三銀行）と共に、中小企業からの相談業務に対応した。

平成29年度取扱件数 : 14件 (傘下の構成機関の取扱件数含む)

- (3) 航空機関連技術動向調査

強化すべき技術の方向性を把握することを主目的にして、国内外の航空機関連技術動向調査をまとめ平成30年4月ホームページにおいて公表した。

今年度は、次世代機の機体形状に関わる技術動向、航空機の知能化・自律化に関する研究動向を重点として調査・報告した。

(4) 各種イベント協力・研究支援等

- ①航空宇宙フェア 17 協賛
主催：日本航空宇宙学会中部支部
8月26日(土) 電気文化会館
- ②航空・宇宙産業進出支援セミナー 後援
主催：(株)三重銀行
10月16日(月) 四日市商工会議所
- ③長野県における航空機産業拡大フォーラム 後援
主催：NPO 諏訪圏ものづくり推進機構
10月20日(金) 諏訪市文化センター ほか
- ④第10回OKB航空機産業セミナー 後援
主催：大垣共立銀行
平成30年4月16日(木) 名古屋銀行協会

(5) 情報発信

- ① ホームページを充実するためトップページのリニューアルと、バナーの追加、英語版の拡充により情報発信力の強化を図った。
- ② 中部経済産業局航空宇宙室が発信していたメールマガジンを当センターのニュース・メールマガジンに集約・一元化して発信した。
- ③ ホームページのニュース・イベント及びメールマガジンを年間78件発信し情報提供に努めた。
- ④ 情報公開として、事業計画・報告、収支予算・決算をホームページに掲載した。

(6) 損害保険代理店業務

- ・ 無人機(マルチヘリコプター)の損害賠償保険等
- ・ 海外旅行保険(インターネット契約サービス)、その他

8. 総会・理事会の開催

(1) 第5回定時総会

開催日・場所： 平成29年6月28日(水) 名古屋栄ビルディング12階大会議室

報告事項：

- ① 平成28年度事業報告書について
- ② 平成29年度事業計画及び収支予算について

議案：

第1号議案 平成28年度決算報告書承認の件

第2号議案 役員(理事・監事)の選任の件

- 総会記念講演会 「民間航空機エンジン産業の特徴と技術動向
～構造材料/ものづくり技術を中心に～」

(株) I H I 理事 航空・宇宙・防衛事業領域 民間エンジン事業部
事業部長 盛田 英夫 氏

- 交流会：参加者 122名

(2) 第9回臨時理事会（書面決議）

開催日・平成29年6月2日（金）

議案：

- 第1号議案 平成28年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件
- 第2号議案 役員（理事・監事）の候補者推薦の承認に関する件
- 第3号議案 総会における書面議決の承認に関する件
- 第4号議案 フランス3クラスターとのMOUの締結の承認に関する件

(3) 第10回臨時理事会（書面決議）

開催日：平成29年6月28日（水）

議案：

- 議案1 会長（代表理事）、副会長及び専務理事（業務執行理事）の選定について

(4) 第11回臨時理事会（書面決議）

開催日：平成29年12月20日（水）

議案：

- 議案1 平成29年度収支予算書（変更）（案）の承認に関する件
- 議案2. 入会会員の承認について

(5) 第12回臨時理事会（書面決議）

開催日：平成30年3月29日（木）

議案：

- 第1号議案 平成30年度事業計画書及び収支予算書の承認に関する件
- 第2号議案 入会会員の承認について

(6) 定例運営事務局会議

産業界代表（三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、AETアビエーション(株)）から航空宇宙産業振興に必要な課題の提案、センター運営についての助言などをしていただき、事業に取り込むべき課題及びその進め方等について相互に議論をする場、必要に応じて関係機関等にも出席を要請。6回開催

9. 庶務事項

・登記事項

平成29年8月 代表理事、理事、監事の重任等 登記

平成29年12月 理事の辞任 登記

・職場内クリーンキャンペーンの実施

平成12年現事務所移転後初の大規模なクリーンキャンペーンを実施。書類等大幅に整理し職場環境を整えた。

10. その他

外部委員会等への参加

- ①愛知県航空機製造認証支援事業企画提案審査委員会 委員
- ②愛知県グローバルサプライチェーン構築検討委員会 委員
- ③名古屋市航空宇宙産業設備投資促進補助金意見聴取会 委員
- ④航空宇宙産業販路開拓支援事業実行委員会 委員
- ⑤岐阜県航空宇宙・医療福祉機器産業等競争力強化支援事業費助成金審査委員会 委員
- ⑥岐阜県成長産業人材育成センター運営協議会 委員
- ⑦みえ航空宇宙産業研究会 オブザーバー
- ⑧航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会 製造技術者WG 委員